

# そうだ、きさいち植物園に行こう！

Let's go Kisaichi botanical garden



10月



## サザンカ

- ツバキ科の常緑小高木で、温かい山地に生える
- 花はツバキに似ているが、平らに開き、多数の雄しべはツバキのように筒状にくっつかず、分離している
- 日本特産種

9月 10月



## コスモス

- メキシコ原産のキク科の1年草。観賞用としてよく植えられる
- 秋桜ともいい、白や淡紅色、深紅色の可愛い花が盛んに開く
- コスモスは英語で「宇宙」。花の中央に星の形をした花がある

9月 10月



## ミズアオイ

- 全国の池や沼などに群生する1年草
- ヒヤシンスに似た青い花を多数咲かせる
- 名前の由来は水辺に生え、葉の形がアオイに似ているため

10月



## コブクザクラ

- 中国のシナミザクラとエドヒガンの雑種と推定される
- 4月上旬と秋に八重咲きで白い花を咲かせる
- 名前の由来は、1つの花から複数の実をつけることから、子宝に恵まれる「子福」

※気象状況により開花時期は前後します。現在の開花状況は植物園までお問い合わせください。

## こぼれ話



観測をしている百葉箱



百葉箱の内部

植物園では、1950年の開園の翌年、1951年から気象観測を始め、以後、毎日9時過ぎに観測をしています。観測は、天候や風向き、最高・最低気温など11項目を記録し、園内の国内外から導入した多様な植物の手入れ作業の参考に利用しています。

現在までに蓄積された約70年分のデータを見比べると、1951年9月の平均気温は22.5℃、最高気温の平均は26.0℃だったものが、2019年9月には平均気温25.9℃、最高気温の平均は30.9℃となり、かなり高くなっていることが伺えます。

他にも、観測記録の中で最も高い気温は1978年8月12日の38.8℃。最も低い気温は1977年2月16日のマイナス10.2℃。24時間雨量の最高は、2013年9月16日の279.7mmなど、いろいろな記録が残っています。

今後もメタセコイア近くの園内の1等地で、観測は続けられていくと思います。



観測記録の様子



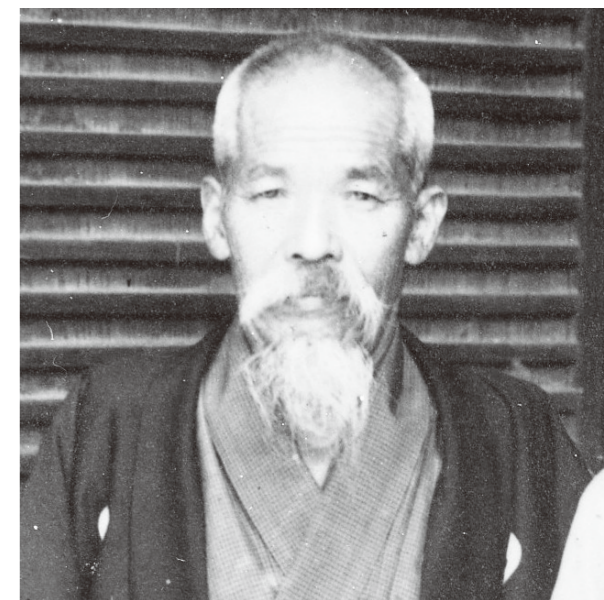
記録をつけている野帳

## 大阪市立大学理学部附属植物園 (愛称：きさいち植物園)

- ☎ 891-2059 ● 交野市私市 2000 (私市駅徒歩 6分) ● HP <https://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>
- 開園時間 9:30 ~ 16:30 (入園は 16:00 まで) ● 休園日 月曜日 (祝休日の場合は開園)
- 入園料 大人 350 円 / 中学生以下無料 ● 駐車料 普通車 500 円 / マイクロ 1,000 円
- ※ 65 歳以上の市民は「植物園メイト」に登録すると入園料が無料になります。



# 星ノ町 レジェンド



私財を投げ打ち道を切り開いた偉人  
いたみとみたらう  
伊丹富太良  
1873年—1953年

伊丹富太良は、明治6年(1873年)に傍示で生まれました。ここに住む伊丹氏の一族は、戦国時代には兵庫県の伊丹に住んでいましたが、織田信長との戦に敗れ、静かな山中にある傍示の里に隠れ住んだという伝承を持つ一族です。

明治時代の傍示は、交野の町中へ行くには、「かいがけの道」を通るしかありませんでしたが、この道は車も通れない険しい道のため、買い物や通勤・通学のために上り下りするのは非常に大変なものであったと考えられます。そうした傍示の人たちの姿を見て、富太良は傍示に道を作る事業の実施を決断しました。

公共事業ではなく個人でこのような事業を行うことは傍示の人たちにとっても驚きの出来事でしたが、富太良の決意は固く、大正2年(1913年)頃から工事が開始されました。作業員を手配し、トロッコをひき、時には山の硬い岩盤を崩すためのダイナマイトによる爆破もあったそうですが、これらの費用は全て富太良の私財により賄われていました。

また、工事開始の翌年には第一次世界大戦が勃発し、工事資材の価格が暴騰しましたが、富太良はこの事態にもあきらめることなく、所有していた田畑を売り払って工事費用を捻出していました。それでも一時は事業継続が危ぶま

れましたが、幸いにもこの道路工事は大阪府によって補助されることになり、ついに傍示の里から森南を通る道路が完成しました。傍示の人たちはこの道を、古くからあったかいがけの道に対して「新道」と呼んで親しんでいました。

富太良が切り開いたこの道は、現在は「森南傍示線」として市が管理しています。生活道路として地域の人たちに重宝されているだけでなく、ハイキングなどレジャーを楽しむ人たちのためにも役立っています。個人でこのような長年役立つ道路を作った偉業に、ただただ頭が下がる思いです。



当時の工事風景